

FMV

B5FY-4271-01

FMV SERIES

取扱説明書

DVD-ROM&CD-R/RWドライブユニット
(FMV-NCB51)


FUJITSU

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。
(社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本製品は、社団法人日本電子工業振興協会が定める高調波ガイドラインの適合品です。

お知らせ

- 不適切な接続、および取り扱いにより生じたデータの損失ならびに直接的、間接的な損害につきましては、当社は一切の保証をいたしません。あらかじめご了承ください。
- 重要なデータに関しては、万が一に備えて元データと照合（ファイルコンペア等）を追加した状態でバックアップ（複製）を行ってください。

お気をつけください

- 個人または家庭内など限られた範囲内での使用（以下「私的使用」といいます）を目的とする場合を除き、あなたが著作権をお持ちでない著作物を権利者に無断で複製することは著作権法で禁じられています。
また、著作物によっては、その使用許諾条件で複製が制限されたり、禁じられている場合がありますので、「私的使用」を目的とする場合でも使用許諾条件の内容に従ってください。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

リサイクルについて

■本製品の廃棄について

本製品を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

- 法人・企業のお客様へ

本製品を廃棄する場合は、産業廃棄物の扱いとなりますので、産業廃棄物処分業の許可を取得している会社に処分を委託する必要があります。弊社は、「富士通リサイクルシステム」を用意し、お客様の廃棄のお手伝いをしておりますのでご利用ください。

- 個人のお客様へ

本製品を廃棄する場合は、一般廃棄物の扱いとなりますので、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従ってください。

■富士通リサイクルシステムについて

弊社では1998年より、法人・企業のお客様から廃棄されるコンピュータ周辺機器を「富士通リサイクルシステム」(有料)にて回収・リサイクルし、資源の有効利用に取り組んでおります。

お問い合わせ／お申し込み先: <http://eco.fujitsu.com> の「富士通リサイクルシステム」をご参照ください。

なお、法人・企業以外のお客様はお申し込みできません。

はじめに

このたびは、DVD-ROM&CD-R/RWドライブユニット（FMV-NCB51）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は、DVD-ROM&CD-R/RWドライブユニット（以降、本製品）の基本的な取り扱い方を解説しています。ご使用になる前に本書をよくお読みになり、正しい取り扱いをされますようお願いいたします。

2003年10月

●商標および著作権について

- Microsoft、Windows、MS、MS-DOSは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標および登録商標です。
- Pentiumは、米国インテル社の登録商標です。
- Photo CDは米国Eastman Kodak Companyの登録商標です。
- PhoenixはPhoenix Technologies Ltd.の商標です。
- WinDVDはInterVideo Incorporatedの商標です。
- SmoothLinkは松下電器産業株式会社の登録商標です。
- Sonic RecordNowは、米国Sonic Solutionsの登録商標です。
- その他、各社名および各商品名は各社の商標または登録商標です。
- 本書の記載内容は予告なしに変更される場合があります。



All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2003

画面の使用に際して米国Microsoft Corporationの許諾を得ています。

本マニュアルの表記について

●記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記 号	意 味
	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	本書内の参照ページを示しています。

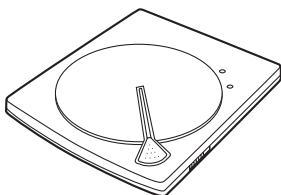
●画面例について

本書に表記されている画面は一例です。お使いのディスクやデータの種類によって、画面の一部やファイル名などが若干異なる場合があります。ご了承ください。

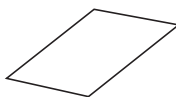
●製品の呼び方について

Microsoft® Windows® XP ProfessionalをWindows XPと表記しています。
Microsoft® Windows® XP Home EditionをWindows XPと表記しています。
Microsoft® Windows® Millennium EditionをWindows Meと表記しています。
Microsoft® Windows® 2000 Professional をWindows 2000と表記しています。
Microsoft® Windows® 98 operating system SECOND EDITIONをWindows 98と表記しています。
Microsoft® Windows® 95 operating system をWindows 95と表記しています。
Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0をWindows NTと表記しています。
Sonic RecordNow DX 4.60をRecordNowDXと表記しています。

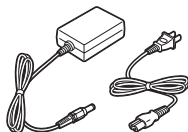
梱包物を確認してください



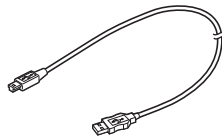
DVD-ROM&CD-R/RWドライブユニット



保証書



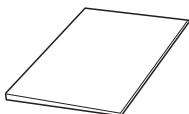
ACアダプタ
(UJDB360PS2)
(→ P.3)



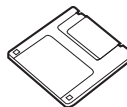
USBケーブル^{注1}
(→ P.3)



CD-ROM(一枚)
〔・RecordNow DX
・WinDVD 4
・ドライバースoft〕



取扱説明書(本書)



セットアップディスク
(袋入り^{注2})(→ P.12)

注1: イラストは現物と一部異なる場合があります。

注2: 開封前に、必ず「エンドユーザーライセンス契約書」(→ P.55)をお読みください。

お使いになる前に、上記のものが梱包されていることをご確認ください。

万一不備な点がございましたら、おそれいりますがご購入元にご連絡ください。

重 要





●保証書について



保証書に必要な事項が記入されているか、お確かめください。お買い上げ時に正しく記載されていない場合は、保証書が無効となり無償保証を受けられないことがありますので、十分ご注意ください。記載内容が不十分でしたら、速やかにご購入元にご連絡ください。保証書は大切に保管しておいてください。

安全上のご注意

本書では、いろいろな絵表示を使っています。これは装置を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

	⊘で示した記号は、してはいけない行為(禁止行為)であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

●免責事項について

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 本装置の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(事業利益の損失・事業の中断・記憶内容の変化・消失など)に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 接続機器との組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。



警告

- 絶対に本装置を分解したり、修理・改造しないでください。



分解禁止

レーザー光線による視力障害や感電の原因となります。

- 内部の点検や修理などは故障・修理に関するお問合せ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

- ACアダプタから煙や異臭、異音が出たり、落下などにより破損したときは使用を中止してください。



そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

- ACアダプタを抜いて、故障・修理に関するお問合せ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

- ACアダプタのプラグのほこりなどは定期的にとってください。



プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。

- ACアダプタを抜き、乾いた布でふいてください。

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしないでください。



禁止

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

- ACアダプタのプラグは根元まで確実に差し込んでください。



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

- 濡れた手で、ACアダプタのプラグを抜き差ししないでください。



感電の原因になります。

- ACアダプタ電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。



禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

- ACアダプタが破損した場合は故障・修理に関するお問合せ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

- 長時間使用しないときは、安全のため必ずACアダプタをコンセントおよびパソコン本体から抜いてください。



感電・火災の原因になります。

注意

■ 衝撃や振動を与えないでください。



故障の原因になることがあります。

■ 水、湿気、湯気、ほこり、油煙等の多い場所(調理台や加湿器のそばなど)に設置しないでください。



故障、感電などの原因になることがあります。

■ ひび割れ、変形したディスクは使わないでください。



高速回転しますので、ディスクが飛び散って故障やけがの原因になることがあります。

- 接着剤などで補修したディスクも同様に使用しないでください。

■ レーザー光線をのぞきこまないでください。



本装置は、レーザー光線を遮断する構造になっていますが、万一故障でレーザー光線が出ていると、視力障害の原因になることがあります。

目 次

はじめに	iii
本マニュアルの表記について	iv
梱包物を確認してください	v
安全上のご注意	vi
各部の名称と働き	1
パソコンに接続する	3
USB ケーブルの接続	3
USB ケーブルの取り外し	5
システムの必要条件	6
セットアップする	7
本機付属のソフトウェア	7
本機をご使用いただくための手順とながれ	8
Windows のバージョンを確認する	9
ご使用パソコンの対応 USB を確認する	10
USBドライバをインストールする	12
UDF 2.0 形式の DVD-RAM ディスクを使用するには	14
UDF リーダーをインストールする	15
セットアップを確認する	17
起動ディスクの作成	18
起動ディスク(フロッピーディスク)を作成する	18
作成した起動ディスクの設定を確認する	19
ディスクのセット／取り出し	20
ディスクをセットする	20
ディスクを取り出す	21
ディスクが取り出せないときは	22
使用できるディスクについて	23
コピーコントロール CD について	24
書き込みについて	24
著作権について	24
推奨品	24

データを読み込む	25
CD-R ディスクを使う	25
CD-RW ディスクを使う	25
ビデオを再生する	25
DVD-ROM/CD-ROM ディスクを使う	25
音楽 CD を再生する	25
ビデオ再生ソフトを使用する	26
付属のビデオ再生ソフトについて	26
再生可能地域コード(リージョンコード)について	28
書き込みソフトを使用する	29
RecordNow DX	29
DLA	29
RecordNow DXをインストールする	30
ヘルプを見る	31
CD-R/RW ディスクにデータを書き込む	32
正しくお使いいただくために	33
安全にお使いいただくために	33
万一の故障を防ぐために	33
お手入れについて	34
ACアダプタについて	35
ディスクの取り扱いについて	35
DVD-RAM ディスクについて	36
TYPE2、TYPE4 の DVD-RAM ディスクについて	37
本装置の取り扱いについて	39
故障かな!? と思ったら	40
こんな疑問や質問があったら	46
書き込みについて	46
読み込みについて	49
その他	50
DVD ビデオ再生について	51
お問合せ先	52
仕様	53

エンドユーザーライセンス契約書	55
用語解説.....	57
付 録.....	59
CD-RW/High Speed CD-RW/Ultra Speed CD-RWディスクを読み出し 可能なFMVシリーズ	59
DLAで作成したCD-Rディスクを読み出し可能なFMVシリーズ	59

各部の名称と働き

●前面／天面／右側面

ディスクカバー

オープンボタン [OPEN]

POWER/BUSY 表示ランプ

緑色点灯	本機の電源が入っているとき
緑色点滅	データを読み込んでいるとき

WRITE 表示ランプ

オレンジ色点灯	データを書き込んでいるとき
---------	---------------

注: SmoothLink 機能時は、一時的に消灯します。

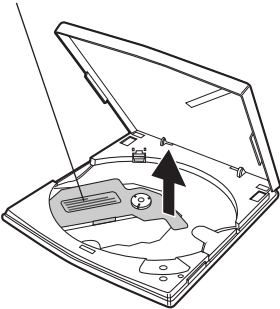
電源スイッチ [POWER 〇 / I]

本機の電源はパソコンの電源に連動して自動的に入／切されます。

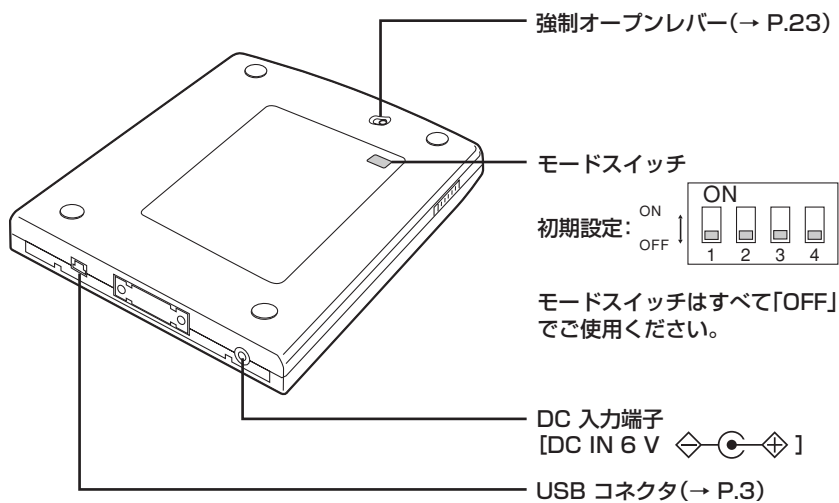
Point

- ご使用いただく前に、必ず本機のレンズ保護シートを取り外してください。
- ディスクカバーを開くには、23ページをご参照ください。

レンズ保護シート



●裏面／背面

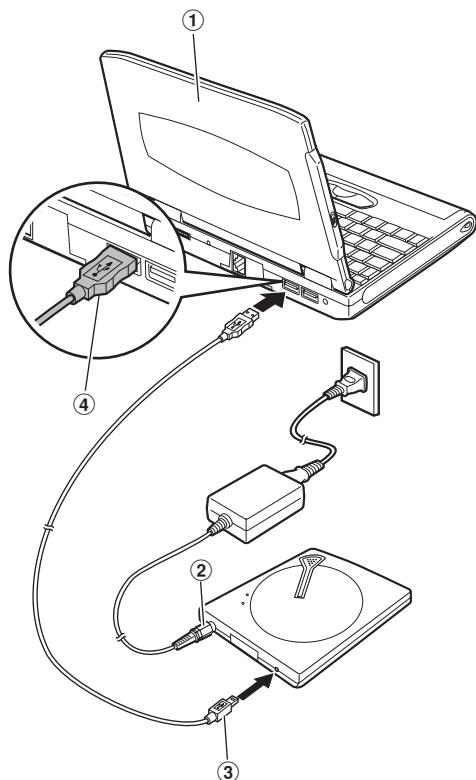


パソコンに接続する

■ USB ケーブルの接続

接続は確実に行ってください。

(接続例)



① パソコン本体を起動します。

② 本装置に AC アダプタを接続します。

③ 付属の USB ケーブルのコネクタ (小さい方) を、本装置の USB コネクタに差し込みます。

④ 片方の USB ケーブルのコネクタ (大きい方) をパソコンの USB コネクタに差し込みます。
本装置の電源が自動的に入り、
POWER/BUSY 表示ランプが緑色
に点灯します。

Point

- 本装置の電源は、パソコンの電源に連動して自動的に入／切されます。
ただし、パソコン本体によっては、パソコン本体の電源を切っても、本装置の電源が切れない場合があります。この場合は、本装置からUSBケーブルを抜くか、本装置の電源スイッチをスライドさせて電源を切ってください。
- USB ケーブルを抜き差しすることで、本装置の電源は自動的に入／切されます。

注意


- 添付の USB ケーブル以外は使用しないでください
(本装置やパソコン本体を損傷するおそれがあります)。
- 長時間使用しないときは、節電のため AC アダプタを電源コンセントから抜いておいてください。本装置の電源スイッチを切った状態でも、約 1 W の電力を消費しています (AC 100 V 時)。
- AC アダプタを電源コンセントに接続する場合は、本装置近くの容易に抜き差しできる電源コンセントをお使いください。
- 本装置は、パソコン本体の USB コネクタに直接接続してください。
USB ハブ経由での接続は動作保証いたしかねます。

■ USB ケーブルの取り外し

● Windows 98の場合

- USB は、ホットプラグに対応しているため、パソコン本体の電源を切らずにいつでも USB ケーブルを抜き差しすることができます。
ただし、本装置の POWER/BUSY 表示ランプ緑色点滅中、およびWRITE表示ランプオレンジ色点灯中は、USB ケーブルは抜かないでください(データ破壊の可能性があります)。

● Windows XP/Windows 2000/Windows Meの場合

- 1 画面右下(タスクバー)の「取り外し」アイコン  をクリックします。
メッセージが表示されます。
- 2 表示されたメッセージをクリックします。
 - Windows XPの場合
「USB大容量記憶装置デバイス - ドライブ(E:)を安全に取り外します」
 - Windows 2000の場合
「USB大容量記憶装置デバイス - ドライブ(E:)を停止します」
 - Windows Meの場合
「USB CD-ROM - ドライブ(E:)の停止」
- 3 「'USB大容量記憶装置デバイス'は安全に取り外すことができます。」とメッセージが表示されるのを確認して、「閉じる」ボタンまたは「OK」をクリックします。
- 4 USB ケーブルを抜きます。

Point

- POWER/BUSY 表示ランプ緑色点滅中、およびWRITE表示ランプオレンジ色点灯中は、USB ケーブルやAC アダプタを抜かないでください。また、スタンバイ/休止状態に移行させないでください。
データ破壊やパソコンが正常に操作できなくなることがあります。
パソコンの操作が正常にできなくなった場合には、パソコン本体を再起動してください。
- 本装置にディスクが入っている状態でUSBケーブルは抜かないでください。
- 「DLA」をご使用の場合には、「マイコンピュータ」のドライブアイコンを右クリックし、「取り出し」を選択してから、USB ケーブルを抜いてください。

システムの必要条件

対応 パソコン ^{注1}	● FMVシリーズパソコン
対応 OS	● Windows® XP(日本語) ● Windows Me(日本語) ● Windows 2000(日本語) ● Windows 98SE(日本語)

■映像系アプリケーション(ビデオ再生ソフト)使用時

CPU	Pentium® II 400 MHz 以上 (Pentium® III 700 MHz 以上を推奨)
メモリ	64 MB 以上(128 MB 以上を推奨) (Windows XP では128 MB 以上)
ハードディスク 空き容量 ^{注2}	20 MB 以上
グラフィック 環境	24 ビット解像度、SVGA 表示、 Direct X 対応(Direct X 8.1 以降)

■データ系アプリケーション(書き込みソフト)使用時

CPU	Pentium® II 300 MHz 以上
メモリ	64 MB 以上(128 MB 以上を推奨)
ハードディスク 空き容量 ^{注2}	100 MB 以上(800 MB 以上を推奨)
グラフィック 環境	800×600 ドット以上、16 ビット色以上、 Direct X 対応(Direct X 8.1 以降)

注1: いずれも、USB ポートを搭載した機種に限りします。

USB2.0 でお使いいただくには、パソコンが USB2.0 に対応している必要があります。パソコンが USB2.0 に対応していない場合、本機は USB1.1 接続ドライブとして動作します。

注2: 安定した書き込みを行うには、連続した領域を確保してください。

セットアップする

■ 本機付属のソフトウェア

本製品には、以下のソフトウェアが付属されています。

ドライバーソフトは本機を使用するのに必要なソフトです。必ずインストールしてください。

● ドライバーソフト

はじめにインストールしてください。

1 USB ドライバー(付属のフロッピーディスク、CD-ROM に収録)

本機を USB で使用するための、Windows 98SE/Me 専用デバイスドライバーです。Windows 98SE/Me の場合、最初に USB ドライバーのインストールが必要です。

- 付属のフロッピーディスクまたは CD-ROM からインストールしてください。

Point

- Windows Me では OS 標準の USB ドライバーでも動作可能ですが、不具合が発生する場合がありますので、付属の USB ドライバーを必ず使用してください。

OS標準のUSBドライバーをインストールしてしまった場合は、専用ドライバーをインストールしなおしてください。(→ P.12)

インストール後、再起動してください。

- Windows 98SE で付属 CD-ROM よりインストールされる場合は、本機以外の使用可能な CD-ROM ドライブをご使用ください。

2 UDF リーダー(付属のフロッピーディスク、CD-ROM に収録)

UDF 2.0 形式でフォーマットされた DVD-RAM ディスクの読み込みを行うためのドライバーソフトです。(DVD ビデオレコーダーで録画された DVD-RAM ディスクは UDF 2.0 形式が使用されています。)

Windows XP 以外の OS ではインストールが必要です。

- 付属のフロッピーディスクまたは CD-ROM からインストールしてください。

Point

- UDF リーダーは USB ドライバーと同時にインストールできます。

- UDF 1.5形式でフォーマットされたディスクは、OSの標準リーダーで読む込むことができます。

●アプリケーション(付属の CD-ROM に収録)

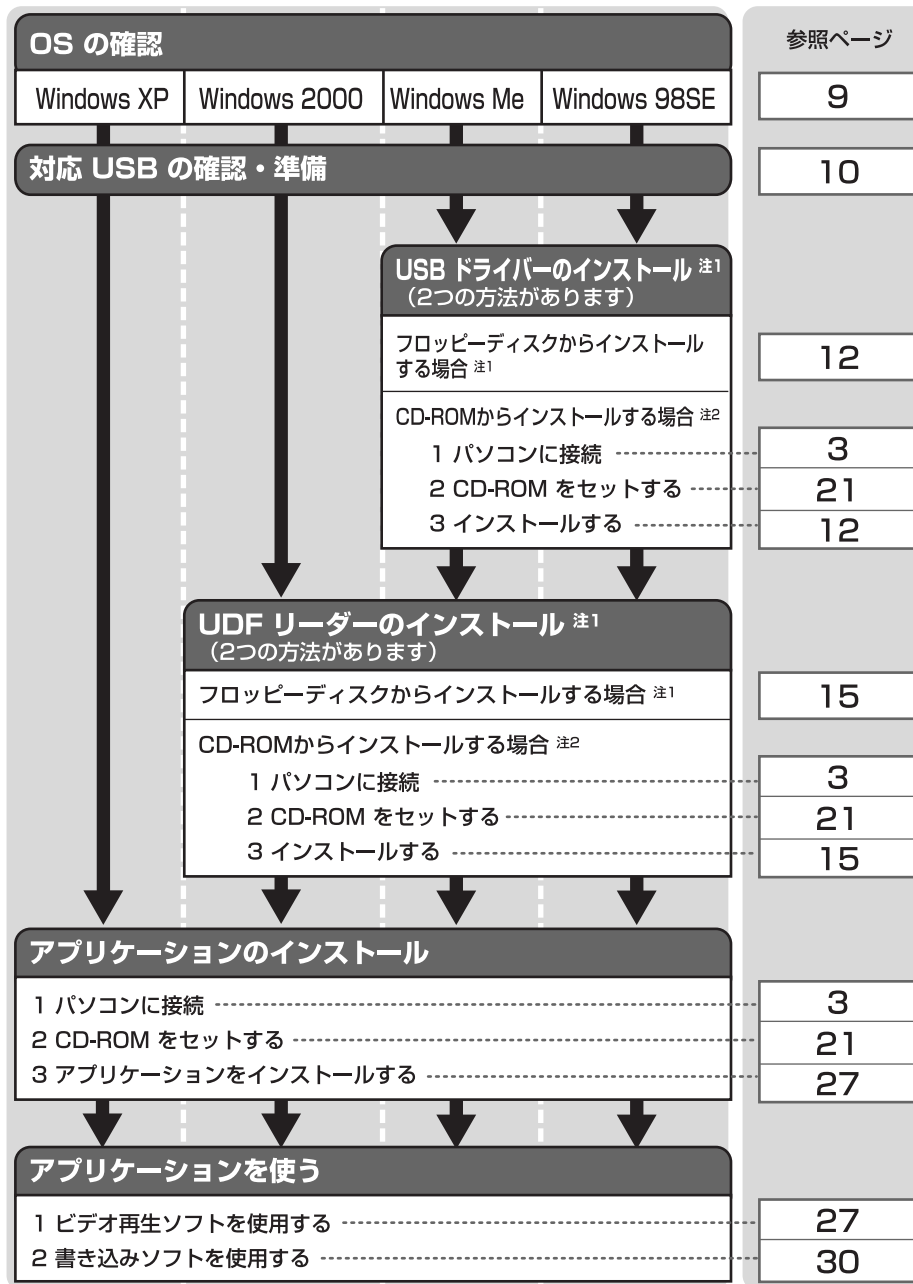
アプリケーションは必要に応じてインストールしてください。(→ P.27、30)

1 ビデオ再生ソフト WinDVD 4

2 CD-R/CD-RW 書き込みソフト

- ライティングソフト RecordNow DX
- パケット記録ソフト DLA(Webからダウンロード)

■ 本機をご使用いただくための手順とながれ



注1:USB ドライバーと UDF リーダーは同時にインストールできます。

注2:Windows 98SE では本機以外の、使用可能なドライブをご使用ください。

Windows のバージョンを確認する

1 「システムのプロパティ」ウィンドウを表示します。

- Windows 2000/Me/98の場合
デスクトップの「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
- Windows XPの場合
「スタート」ボタン→「マイコンピュータ」→「システム情報を表示する」の順にクリックします。

2 Windowsのバージョンを確認します。

以下のいずれかの表示があることを確認します。

- Microsoft Windows XP
- Microsoft Windows 2000
- Microsoft Windows Me
- Microsoft Windows 98



Point

- 本装置は、Windows 95 や Windows NTには対応していません。
また、OS を Windows 95 から Windows 98 へ変更してご使用になる際は、最新のUSB ドライバが必要になる場合があります。
あらかじめ富士通パソコン情報サイトFM WORLD.NET (<http://www.fmworld.net/>)
などで対応状況をご確認ください。

■ ご使用パソコンの対応 USB を確認する

パソコンの USB ポートで使用する場合、パソコンが USB2.0 に対応していないと、本機は USB1.1 接続ドライブとして動作します。

USB のタイプは、ご使用のパソコンの取扱説明書などでお確かめください。

● USB1.1 で使用する

Windows 98SE/Windows Me をご使用の場合は、本機付属の USB ドライバーが必要です。

「USB ドライバーをインストールする」(→ P.12)へお進みください。

注: Windows 98SE/Windows Me 以外は、USB ドライバーのインストールは不要です。

Windows XP/Windows 2000 では

USB ドライバーのインストールは不要です

OS 付属の標準 USB ドライバーで動作します。



「UDF リーダーをインストールする」(→ P.15)へお進みください

Windows 98SE/Windows Me では

Windows Me では OS 標準の USB ドライバーでも動作可能ですが、不具合が発生する場合がありますので、付属の USB ドライバーのご使用をお奨めします。

本機付属の USB ドライバーを使用します

ドライバをインストールしてください。



「USB ドライバーをインストールする」(→ P.12)へお進みください

Point

● USB1.1 インターフェース環境で接続された場合

- 書き込みおよび読み込み速度は最大 4 倍速相当となります。
- DVD-Video 再生のときも、こま落ちやブロックノイズが発生することがあります。

● 8倍速以上の CD-R への書き込み、CD-RW の書き換え、DVD-Video の再生は USB2.0 でご使用ください。

●USB2.0 で使用する

USB2.0 対応済みパソコンの場合

- **Windows XP でご使用の場合**

本機付属のドライバーは不要です。(Windows XP でService Pack1未対応の場合は、Windows Update を適用してください。)

「接続する」(→ P.3)へお進みください。

- **Windows 2000 でご使用の場合**

Microsoft の Windows Update で USB ドライバーをアップデートした後で「UDF リーダーをインストールする」(→ P.15)へお進みください。

●Windows XP/Windows 2000の場合

- USB ドライバーのインストールは不要です。
OS の標準USB ドライバーで動作します。
「USB ドライバーをインストールする」の手順6(→ P.12)へお進みください。

●Windows 98SE/Windows Meの場合

- 本装置に添付のUSB ドライバーを使用します。
ドライバをインストールしてください。
「USB ドライバーをインストールする」(→ P.12)へお進みください。

■USBドライバーをインストールする

本機付属のUSB ドライバーは、Windows 98SE/Windows Me 専用です(Windows 98SE/Windows Me 以外ではインストールは不要です)。

Point

- パソコンは、セットアップ作業中に電源が切れないように AC 電源でご使用ください。


●フロッピーディスクからのインストール

- 1 付属のフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブに入れる
- 2 画面の「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックし、
「A:」(フロッピーディスクドライブが A の場合)をダブルクリックする
- 3 「Dsetup.exe」をダブルクリックする
「セットアップ」の画面が表示されます。
(以降 次ページ 4 へ)

●CD-ROM からのインストール

- 1 パソコンに本機を接続する
「USB ケーブルの接続」(→ P.3)をご参照ください。
- 2 付属の CD-ROM を本機にセットする
「ディスクを入れる」(→ P.21)をご参照ください。
自動的に起動しセットアップメニューが表示されます。

Point

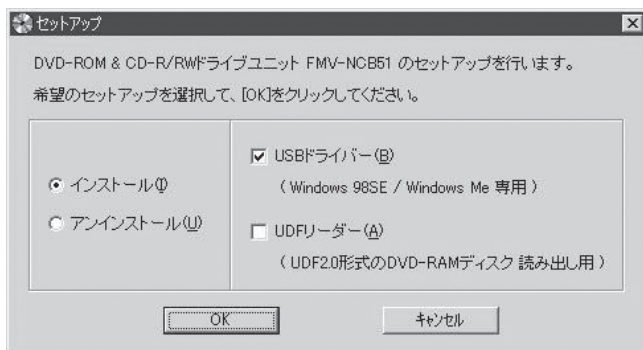
- 自動的に起動しない場合は、マイコンピュータを開き CD-ROM のアイコンをダブルクリックし、CD-ROM 中の「Asmenu.exe 」をダブルクリックしてセットアップメニューを起動してください。

- 3 「ドライバーソフト」をクリックし、インストール確認画面が表示されたら「はい」をクリックする



ドライバーソフト

- 4 セットアップ画面が表示されるので、「USB ドライバー(B)」チェックボックスにチェックを付け、「インストール(I)」を選択し「OK」をクリックする



- 5 インストール終了の画面が表示されたら「OK」をクリックする

フロッピーディスクからの場合は、フロッピーディスクを取り出しフロッピーディスクの画面を閉じてください。

CD-ROM からの場合は、続けてソフトをインストールできます。

終了する場合は「終了(X)」をクリックしてください。

Point

- USB ドライバーとUDF リーダーは同時にインストールすることができます。USB ドライバー、UDF リーダー の両方を選択してください。

UDFリーダーを同時にインストールした場合は、インストール後にパソコンの再起動が必要です。

- USB ドライバーをアンインストールするには

12 ページ以降の手順で進め、手順 4 のセットアップの画面で「USB ドライバー(B)」チェックボックスにチェックを付け、「アンインストール(U)」を選択し「OK」をクリックしてください。

■ UDF 2.0 形式の DVD-RAM ディスクを使用するには

UDF 2.0 形式でフォーマットされた DVD-RAM ディスクを読み込むためには、対応した UDF リーダーが必要です。

本機付属の CD-ROM からインストールしてください。

DVD-RAM はカートリッジから取り出し可能なメディアまたはカートリッジのないメディアで UDF フォーマットされたものに限ります。

● UDF2.0形式の DVD-RAM ディスクを使用する

DVD-RAM ディスクを使用しない場合は、「セットアップを確認する」(→ P.17)へお進みください。

Windows XPでは

OS 標準のものを使用しますので、UDF リーダーのインストールは不要です



「セットアップを確認する」(→ P.17)へお進みください

Windows 2000/Windows Me/Windows 98SEでは

本機付属の UDF リーダーを使用します



「UDF リーダーをインストールする」(→ P.15)へお進みください

Point

- FAT形式でフォーマットされたDVD-RAMディスクはご使用になれません。
- UDF 1.5 形式でフォーマットされたDVD-RAM ディスクはOS 標準のリーダーでご使用になれます。

UDF リーダーをインストールする

本機付属の UDF リーダーは、Windows 98SE/Windows Me/Windows 2000 用です。

Windows 2000 にインストールするには、必ず管理者権限(Administrator)のあるユーザーでログオンして、インストールしてください。

重 要



- 作業中に電源が切れないように、パソコンにACアダプタを接続した状態でインストールしてください。


●フロッピーディスクからのインストール

- 1 付属のフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブに入れる
- 2 画面の「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックし、「A:」(フロッピーディスクドライブが A の場合)をダブルクリックする
- 3 「Dsetup.exe」をダブルクリックする
「セットアップ」の画面が表示されます。
(以降 次ページ 4 へ)

●CD-ROM からのインストール

- 1 パソコンに本機を接続する
「USB ケーブルの接続」(→ P.3)をご参照ください。
- 2 付属の CD-ROM を本機にセットする
「ディスクを入れる」(→ P.21)をご参照ください。
自動的に起動しセットアップメニューが表示されます。

Point

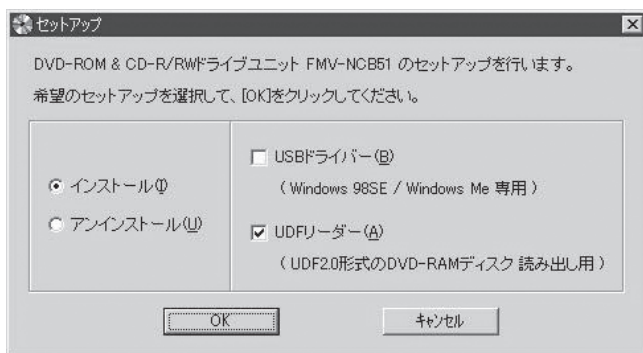
- 自動的に起動しない場合は、マイコンピュータを開き CD-ROM のアイコンをダブルクリックし、CD-ROM 中の「Asmenu.exe 」をダブルクリックしてセットアップメニューを起動してください。

- 3 「ドライバーソフト」をクリックし、インストール確認画面が表示されたら「はい」をクリックする



ドライバーソフト

- 4 セットアップ画面が表示されるので、「UDF リーダー(A)」のチェックボックスにチェックを付け、「インストール(I)」を選択して「OK」をクリックする



- 5 インストール終了の画面が表示されたら「OK」をクリックする
フロッピーディスクからの場合は、フロッピーディスクを取り出し画面の指示に従ってパソコンを再起動してください。
CD-ROM からの場合は、画面の指示に従ってパソコンを再起動してください。

Point

- UDF リーダーをインストールした後で、UDF リーダーを有効にするには、パソコンの再起動が必要です。
- UDF リーダーをアンインストールするには
15 ページ以降の手順で進め、手順 4 のセットアップの画面で「UDF リーダー(A)」チェックボックスにチェックを付け、「アンインストール(U)」を選択し「OK」をクリックしてください。



■ セットアップを確認する

1 パソコンと本機を接続する

「USB ケーブルの接続」(→ P.3)をご参照ください。

2 本機にディスクを入れないで、「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックする

Point

- ドライブアイコン  (Windows XP)、 (Windows XP以外)の表示が追加されていれば、本機を使用することができます。
- 正常に表示されない場合、「表示」メニューの「最新の情報に更新」を選択してください。
- ドライブアイコンが追加されていない場合には、「故障かな! ? と思ったら」(→ P.41)をご参照ください。

起動ディスクの作成

□ 起動ディスク(フロッピーディスク)を作成する

本装置を使ってパソコン本体をリカバリする場合に必要な、起動ディスク(リカバリCD-ROM起動ディスク)の作成方法を説明します。なお、リカバリ方法についての詳細は、パソコン本体に添付のマニュアルを参照してください。

1 パソコン本体に添付の「起動ディスク」をディスクコピーし、作業用の起動ディスクを1枚作成します。

2 作業用の起動ディスクにファイルをコピーします。

本装置に添付の「セットアップディスク」のDOSフォルダの以下のファイルを、作業用の起動ディスクにコピーします。

RAMFD.SYS(パソコン本体がUSB FDDの場合に必要です)

USBASPI.SYS

USBCD.SYS

3 作業用の起動ディスク内のConfig.sysファイルを修正します。

Config.sysファイルに以下の3行を追加します。

DEVICE=RAMFD.SYS^{注1}

DEVICE=USBASPI.SYS [/W] [/E] ^{注2、注3}

DEVICE=USBCD.SYS /D:OEMCD001

注1：RAMFD.SYSはUSB FDDから起動する場合に必要です。

注2：/Wオプションは、USBポートを1つしか持たないパソコン本体で必要です。

注3：/Eオプションは、接続するUSBポートがUSB2.0の場合に必要です。

また、起動ディスクが弊社製CD-ROMドライブ(FMV-NCD43S/403)用に設定されている場合は、次の記述を削除します。

REM(PC-CARD Drive)

DEVICE=A:¥PCM311¥CNFIGNAM.EXE /DEFAULT

DEVICEHIGH=A:¥PCM311¥PCMSS.EXE

DEVICEHIGH=A:¥PCM311¥PCMCS.EXE

DEVICEHIGH=A:¥PCM311¥PCMRMAN.SYS

REM(CD-ROM Drive)

DEVICE=ATAKMGR.SYS

DEVICE=KMEKATCD.SYS /D:OEMCD001

- 4 作業用の起動ディスク内のAutoexec.batファイルに以下の1行を追加します。
- すでにある場合には、追加の必要はありません。
- MSCDEX.EXE/D:OEMCDOO1

作成した起動ディスクの設定を確認する

作成した起動ディスクで本装置が使用できるか確認します。

- 1 パソコン本体の電源を切り、パソコン本体のACアダプタを取り外します。
- 2 本装置をパソコン本体に接続します。
- 3 パソコン本体のACアダプタをパソコン本体に接続します。
- 4 フロッピーディスクユニットに起動ディスクをセットし、パソコン本体の電源を入れます。
- 5 DOSプロンプト画面を表示させます。
例) A:¥>と表示させます。
- 6 CD-ROMをセットします。
ここではセットしたCD-ROMの内容が表示できるか試します。適当なCD-ROMをセットしてください。
- 7 「A:¥>」に続けて次のように入力し、【Enter】キーを押します。
例) DIR Z:(Zには、本装置が割り当てられているドライブ名を入力します)
本装置にセットしたCD-ROMの内容が表示されたら、正しく設定されています。
表示されないときは、以下の点を確認し、再設定してください。
 - 必要なファイルを正しくコピーできたか
 - Config.sysファイルとAutoexec.batファイルの内容が正しく変更されているか

ディスクのセット／取り出し

本装置は、電動オープン機構になっているため、電源が入っていないときはオープンボタンを押してもディスクカバーは開きません。

■ ディスクをセットする

1 本装置の電源を入れます。

本装置の電源は、パソコン本体の電源に連動して自動的に入／切されます。

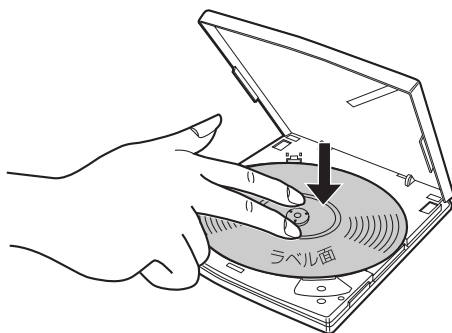
2 オープンボタンを押します。

ディスクカバーが少し開きます。

3 ディスクカバーを持ち上げて、開きます。

4 ディスクをセットします。

ディスクの中心付近をディスクが固定されるまで指で押さえます。



5 ディスクカバーを閉じます。

重 要



- ディスクは、確実にセットしてください。装置の故障やディスク破損の原因となることがあります。

■ ディスクを取り出す

重 要



- ディスクの取り出し操作をする前に、本装置のPOWER/BUSY表示ランプが点滅していないこと、およびWRITE表示ランプが消えていることを確認してください。

Point

- データ書き込み中(WRITE表示ランプが点灯)は、ディスクカバーがロックされているため、書き込みが終了するまでディスクカバーを開けることはできません。
- 「DLA」をご使用の場合には、次の方法で取り出してください。
 - ① 「マイコンピュータ」のドライブアイコンを右クリックします。
 - ② 表示されたメニューから「取り出し」を選択します。

1 本装置の電源を入れます。

本装置の電源は、パソコン本体の電源に連動して自動的に入／切されます。

2 オープンボタンを押します。

ディスクカバーが少し開きます。

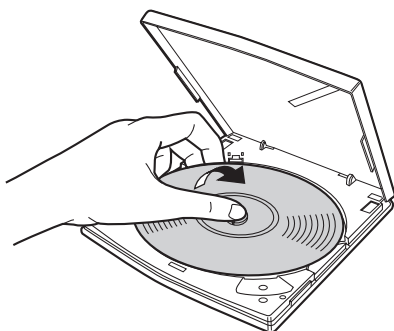
Point

- 本装置にディスクが入っている場合は、使用中のアプリケーションからディスクの「取り出し」を選択しても、ディスクカバーを開くことができます。

3 ディスクカバーを持ち上げて、開きます。

4 ディスクを取り出します。

中央部分を押さえながら、端の方からつまみあげるようにして、取り出します。



■ ディスクが取り出せないときは

● ディスクカバーロックの強制解除

データ書き込み中の故障、停電などでオープンボタンを押してもディスクカバーが開かない場合は、ディスクカバーロックを強制的に解除し、ディスクカバーを開けることができます。

1 本装置裏側の強制オープンレバーをスライドさせます。

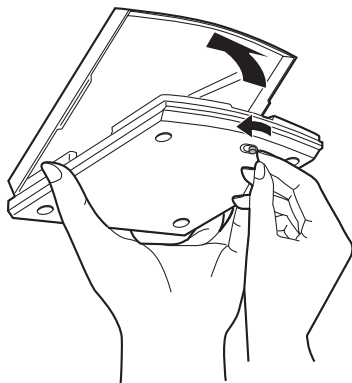
ディスクカバーが少し開きます。

2 ディスクカバーを持ち上げて、開きます。

重 要

- ディスクの回転が止まらないときは、ACアダプタをコンセントから抜いて、完全に回転を止めてください。















回転中にディスクカバーを開けるとディスクが外れて飛び出し、ディスクや本装置を破損したりけがの原因となる可能性があります。



使用できるディスクについて



本機では、次のディスクが使用できます。

本機で使用するディスクの概要

- CD-R は  のマークが付いているもの
- CD-RW は  や  や  のマークが付いているもの
- CD-ROM は  のマークが付いているもの
- 音楽 CD は  や  のマークが付いているもの
- ビデオ CD は  や  のマークが付いているもの
- DVD ビデオ は  のマークが付いているもの
- DVD-ROM は  のマークが付いているもの
- DVD-RAM は  のマークが付いているもの
- DVD-R は  のマークが付いているもの
- DVD-RW は  のマークが付いているもの

注：ディスクの状態（記録品質、傷、汚れ、変形、コピープロテクションなど）によっては正常に読み込めない場合があります。

読み込み対応ディスク		読み書き対応ディスク
DVD-ROM	CD-ROM	CD-R
DVD-Video ^{注1}	CD-ROM XA	CD-RW
DVD-RAM ^{注2}	CD-DA	High Speed CD-RW
DVD-RW	CD-EXTRA	Ultra Speed CD-RW
DVD-R	CD TEXT ^{注3}	
Video CD ^{注3}	Photo CD ^{注4}	

注1：再生可能な DVD-Video は、再生可能地域コード（リージョンコード）（2 を含むもの）または  の表示があるものです。他の地域コードのものは、リージョンコードの設定変更が必要です。設定変更は 4 回までです。4 回目以降の変更はできません。（→ P.29）

注2：DVD-RAM ディスクの再生は、カートリッジから取り出し可能なメディアまたはカートリッジがないメディアで、UDF フォーマットのものに限ります。（→ P.38）

注3：付属ソフトを使用することにより、再生が可能です。

注4：使用時には市販の専用ソフトが別途必要です。

■ コピーコントロール CD について

- 本機は、CD 規格(コンパクトディスクデジタルオーディオ)に準じていない「コピーコントロール CD」などについては、動作や音質の保証は致しかねます。
- CD 規格に準じた CD の再生や読み出しに支障がなく、上記のような特殊ディスクで支障が出る場合は、ディスクやパッケージ、印刷物などをよくお確かめのうえ、ディスクの発売元へお問い合わせください。

■ 書き込みについて

- 本製品の使用や故障により生じたデータの損失ならびに直接的、間接的な損害につきましては、当社は一切の保証をいたしません。あらかじめご了承ください。
- 重要なデータに関しては、万一に備えて元データと照合(ファイルコンペア等)を追加した状態で書き込みやバックアップ(複製)を行ってください。

■ 著作権について

- 本機を利用して音楽用 CD 等の各種ディスク、インターネット上の画像や情報等著作権の対象となっている著作物を、複製または編集することについては、著作権法上、個人または家庭内など限られた範囲内での使用(以下「私的使用」と言います)のみ許容されます。
- 利用者が著作権をお持ちでない著作物を権利者に無断で複製、編集することは著作権法で禁じられています。また、著作物によっては、その使用許諾条件で複製が制限されたり、禁じられている場合がありますので、「私的使用」を目的とする場合でも使用許諾条件の内容に従ってください。

DVD ビデオレコーダーで録画したディスクに関するお知らせ

- DVD ビデオレコーダーで録画された DVD-RAM ディスクの再生には UDF2.0形式に対応した UDF リーダーが必要です。
Windows XP 以外は付属の UDF リーダーをインストールしてください。
(Windows XP ではインストールは不要です。)
- DVD ビデオレコーダーで録画された DVD-R の再生には、録画に使用した DVD ビデオレコーダーでファイナライズする必要があります。

■ 推奨品

ディスク	メーカー
CD-R	太陽誘電(株)、(株)リコー、三菱化学(株)、日立マクセル(株)
CD-RW	(株)リコー、三菱化学(株)
High Speed CD-RW	(株)リコー、三菱化学(株)
Ultra Speed CD-RW	三菱化学(株)

データを読み込む

CD-R ディスクを使う

付属の RecordNow DX(→ P.30)を使用して、データや音楽ディスクの作成ができます。
(本機では、DLA での CD-R ディスクに対する書き込みはサポートされていません。)

CD-RW ディスクを使う

付属の DLA (→ P.30)のフォーマット機能で CD-RW ディスクをフォーマット後に、
ファイル単位でデータを書き込むことができます。
また、RecordNow DX を使用して、データや音楽ディスクの作成などもできます。

ビデオを再生する

付属の WinDVD 4(→ P.27)を使用して、DVD-Video や Video CD などが再生できます。

DVD-ROM/CD-ROM ディスクを使う

DVD/CD-ROM の使用方法については、それぞれの DVD/CD-ROM(アプリケーション)
に付属の説明書や Readme ファイルなどをご参照ください。

音楽 CD を再生する

本機で音楽 CD を再生するには、パソコンのデジタル再生が「有効」に設定されている必要があります。デジタル再生が「有効」に設定されていれば、パソコンに接続されたスピーカー
(パソコン内蔵の場合もあります)から音楽を聞くことができます。
(詳しくは、パソコンの取扱説明書をご参照ください。)

ビデオ再生ソフトを使用する

■ 付属のビデオ再生ソフトについて

本機にはビデオ再生ソフトとして、InterVideo 社製 WinDVD 4 が付属していますので、付属の CD-ROM からインストールしてください。



- ご使用のパソコンに、旧バージョンのビデオ再生ソフトや他社の同じ機能のソフトがインストールされている場合は、あらかじめ削除してください。
- 使用中のアプリケーションおよびウイルス対策などの常駐監視型プログラムがあれば終了してください。

Point

- Windows 2000/Windows XP にインストールするには、必ず管理者権限 (Administrator)のあるユーザー名でログインして、インストールしてください。

●インストールするには

- 1 付属の CD-ROM を本機にセットする
(自動的に起動し、下記画面が表示されます。)



WinDVD 4 のインストール

Point

- 自動的に起動しない場合は、マイコンピュータを開き CD-ROM のアイコンをダブルクリックし、CD-ROM 中の「Asmenu.exe」をダブルクリックしてセットアップメニューを起動してください。



- 2 「WinDVD」をクリックする

(WinDVD 4 のインストーラーが起動しますので、画面の指示に従ってインストールを行ってください。)

- 3 インストールが終了したら、「終了(X)」をクリックする







●使用するには

通常は、DVD ビデオをセットするだけで自動的に再生が始まります。
(自動再生のオプションが オン に設定の場合)
自動的に再生しない場合は、タスクバーから[スタート]→[すべてのプログラム]→
[InterVideo WinDVD 4]→[InterVideo WinDVD 4]を選択してください。
WinDVD 4 の操作パネルは、家庭用ビデオデッキの感覚で操作できます。

Point

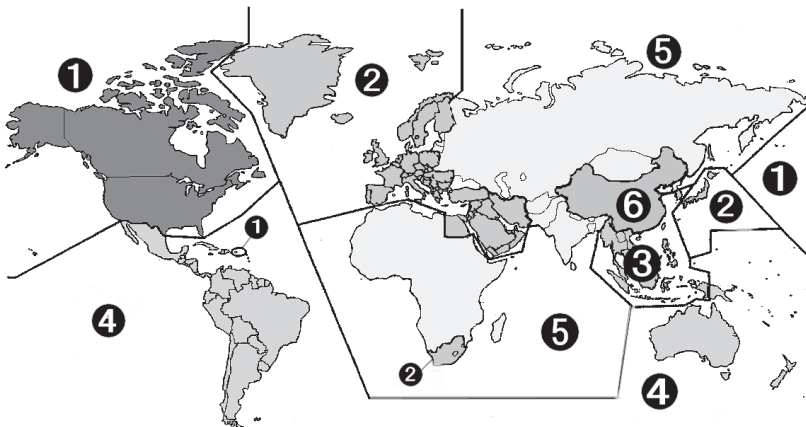
- ビデオ再生ソフトの使用方法については、WinDVD 4 のヘルプをご参照ください。
- DVD ビデオの再生画質は、ディスクやパソコンの能力、使用条件により変化します。

●機能表示の見かた

機能表示	表示の意味
	音声数
	字幕数
	アングル数
	収録画面サイズの種類
	再生可能地域コード
	コピープロテクト
片面・1層ディスク	ディスク形式

再生可能地域コード(リージョンコード)について

多くの DVD ビデオ(DVD ディスク)は、リージョンコードにより保護されています。リージョンコードは、下図のように地域ごとに管理されています。



DVD ビデオを見るためには、下記のリージョンコードが一致している必要があります。

- DVD ディスクのリージョンコード
- 本機のリージョンコード
- 再生ソフト(WinDVD 4)のリージョンコード

異なるリージョンコードの、DVD タイトルを再生しようとした場合は、警告画面が表示されますので、「OK」をクリックすれば、リージョンコードの設定画面が表示されます。設定内容を確認し「OK」をクリックすれば、再生ソフト(WinDVD 4)と、DVD タイトルの再生ドライブ(本機)は、その新しいリージョンコードに設定されます。設定変更を確認し画面を終了すると再生が始まります。

本機出荷時のリージョンコードは **2** に設定されています。

変更は合計5回まで行うことが可能ですが、出荷時に1回目を使用しますので、変更可能な回数は4回までとなります。

Point

- 4回目以降は最後に設定したリージョンコードに固定され、変更はできなくなりますので、十分にお気をつけください。

不正にリージョンコードを改変した場合のトラブルは、お客様の責任となります。

書き込みソフトを使用する

本装置には、書き込みソフトとしてSonic社製RecordNow DXが付属しています。また、WEBからDLAをダウンロードすることができます。用途に合わせてお使いください。

RecordNow DX

CD-R/RWディスクに、まとめてデータを書き込みます。データのバックアップやデジタル写真のアルバムの作成などに便利です。

あとから追加して書き込むこともできますが、ファイルの更新や削除はできません。

RecordNow DXは、本装置に添付されているCD-ROMからインストールしてお使いください(→ P.31)。

Point

- RecordNow DXは、著作権を持っているか、もしくは著作権者からコピーの許可を得ている材料の再作成を手助けするように設計されています。著作権を所有していないか、または著作権者からコピーの許可を得ていない場合は、著作権法に違反し、損害賠償やその他の刑罰を課せられることがあります。自分の権利について不明な場合は、法律家にご相談ください。

DLA

CD-R/RWディスクをフロッピーディスクやMOのように手軽に使えます。ファイルの更新や削除もできます。

DLAは、本装置に添付されているCD-ROMには入っていません。次の方法でWebからダウンロードしてください。

- 1 「RecordNow DX」を起動します。
- 2 「ヘルプ」メニュー→「Webのテクニカルサポート」の順にクリックします。
サポートのWebページが表示されます。
- 3 Webページ内の「ダウンロード」をクリックします。
この後は、メッセージに従って操作してください。

Point

- RecordNow DXとDLAを交互に使うと同一ディスクにデータの書き込みはできません。一度、どちらかのアプリケーションで書き込みを行ったあとは、同一アプリケーションを使って書き込みを継続してください。

■ RecordNow DXをインストールする

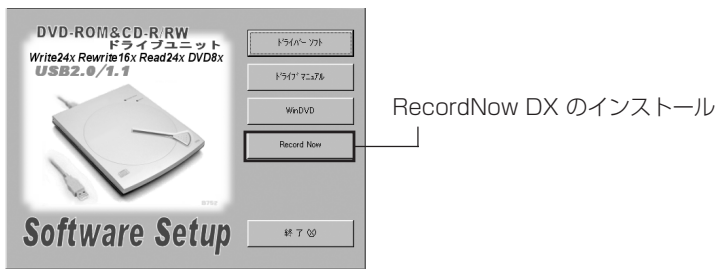
ここでは、RecordNow DXのインストール方法を説明します。

Point

- インストールする前に、パソコン本体に本装置を取り付けてください。
- パソコン本体のCDの自動再生機能(オートラン)が有効になっていることを確認してください(→ P.32)。

1 付属のCD-ROM を本機にセットする

自動的に起動し、下記画面が表示されます。



Point

- 自動的に起動しない場合は、マイコンピュータを開きCD-ROM のアイコンをダブルクリックし、CD-ROM 中の「Asmenu.exe」をダブルクリックしてセットアップメニューを起動してください。

2 インストールするソフト「RecordNow DX」をクリックする

選択されたソフトのインストーラーが起動しますので、画面の指示に従ってインストールを行ってください。

3 インストールが終了したら、「終了(X)」をクリックし、パソコンを再起動する

書き込みソフトが使用できるようになります。

●挿入の自動通知

Windows 98またはWindows Meをお使いの場合は、次の方法でCDの自動再生機能（オートラン）を有効にしてください。通常は有効になっています。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックし、「システム」アイコンをダブルクリックします。
「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
- 3 「CD-ROM」アイコンをダブルクリックします。
- 4 「GENERIC CDRCB03」アイコンをダブルクリックします。
- 5 「設定」タブをクリックし、「挿入の自動通知」をクリックして ☒ にします。
すでに ☒ になっているときは、クリックする必要はありません。
- 6 「OK」をクリックします。

Point

- Windows XP、またはWindows 2000の場合の設定方法はシステム管理者にお問い合わせください。通常は有効になっています。

■ヘルプを見る

「RecordNow DX」の使用方法については、アプリケーションのヘルプをご覧ください。

CD-R/RW ディスクにデータを書き込む


アプリケーションのヘルプをご覧ください。

Point


- CD-R/CD-RW ディスクにデータを書き込む場合は、次の点に注意してください。
 - パソコン本体は、書き込み中に電源が切れないようにAC 電源でお使いください。
 - パソコンをスタンバイ状態にしないでください。
書き込みができなくなる場合があります。
 - ノートパソコンのディスプレイを閉じないでください。
スタンバイ状態になり、書き込みができなくなる場合があります。

本装置で使用可能な書き込み速度は、次のとおりです。最適な速度でご使用ください。

- CD-R ディスクでは、4倍速、8倍速、最大16倍速、最大24倍速
- CD-RW ディスクでは、4倍速
- High Speed CD-RW ディスクでは、4倍速、8倍速、10倍速

(のマークが表示されたディスクをご使用ください。)

- Ultra Speed CD-RWディスクでは、8倍速、10倍速、最大16倍速

(のマークが表示されたディスクをご使用ください。)

Point

- 8倍速以上の書き込みは、USB2.0 またはSmoothLink での動作が必要です。
- パソコンの性能や使用条件、ご使用のディスクによっては、16倍速、24倍速で書き込みができない場合があります。
- CD-R/CD-RW ディスクの推奨品については、「使えるディスク」(→ P.24)をご覧ください。
- SmoothLink は通常ON に設定されており、機能時はWRITE 表示ランプが一時的に消灯します。

正しくお使いいただくために

■ 安全にお使いいただくために

●湿気・ほこり・水気は禁物

湿気やほこりや浮遊物の少ないところで使用してください。また内部に水などの液体やクリップなどの金属類が入ると、感電や、故障の原因となります。

●分解は絶対にしないでください

本装置を分解して内部に触れたり、金属物を入れたりしますと、感電や、故障の原因になります。

●長期間で使用にならないとき

万一の事故を防ぐために、長い間使用しないときは、電源プラグは必ず両方（電源コンセント側と本装置側）とも抜いてください。

●ACアダプタのコードは大切に

ACアダプタの電源コンセントへの抜き差しは、必ずACアダプタ本体を持って行ってください。また、ACアダプタのコードを本装置に抜き差しする場合は、必ずACアダプタのプラグ部を持って行ってください。

■ 万一の故障を防ぐために

●高温は故障の原因

直射日光の当たる場所やストーブのような熱器具の近くで使用すると、ケースや部品に悪い影響を与えます。

●振動の少ない安定した場所に

不安定な場所に設置すると落下する危険があります。また、振動が多いと故障したり、性能が十分発揮できないことがあります。

●放熱効果を良くしてください

狭い場所に設置すると、放熱が悪くなり、故障の原因になります。また、温度が上がる機器の上などに置かないでください。

●ほこりや浮遊物の少ないところで使用してください

本装置内の対物レンズやセンサの表面にゴミや浮遊物などが付着すると、正常に動作をしなくなることがあります。

本装置をほこりの少ない場所に設置し、本装置およびその周辺を常に清潔にしておいてください。

設置に不適当な場所の例

- ーほこりの濃度が 0.1 mg/m^3 以上の場所
- ー超音波加湿器を使用している場所
- ー禁煙でない場所
- ーガソリンエンジン、ディーゼルエンジンなどの排気ガスが入ってくる場所
- ー硫化水素のような腐食性ガスが認められる場所

本装置の周囲で超音波加湿器を使わないでください。

加湿器に使用する水の水质によっては、水中に溶けているカルシウムなどが空気に飛散し、本装置の対物レンズやセンサの表面に白い粉として付着し、正常な動作をしなくなることがありますので、ご注意ください。

●本装置の上に物を置かないでください

故障の原因になることがあります。

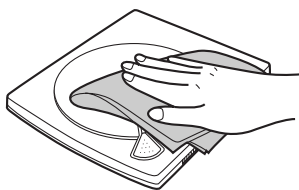
●温度や湿度が急激に変化する場所で使用しないでください

寒い場所から暖かい場所へ急に出さないでください。冷えている本装置を暖かい部屋へ急に出すと、レンズに水滴がついて（結露現象）正しく動作しないことがあります。このような場合には 1 時間位待ってから使用してください。

●電圧、電流が急激に変動する場所で使用しないでください

□お手入れについて

- 月に 1 度は、本装置を乾いた柔らかい布で必ず清掃してください。やむをえず環境条件の悪い場所に設置する場合は、週 1 回以上本装置を清掃してください。



- 本装置の近くにディスプレイが設置されている場合、ディスプレイの静電気によりほこりが集まりますので、週 1 回はディスプレイを清掃し、本装置の周りを清潔に保ってください。

●殺虫剤などに注意

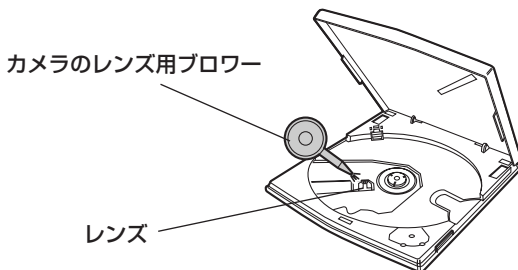
ケースやパネルに殺虫剤、ベンジン、シンナー、アルコールなどをつけたりしますと、塗装がはがれたり変色したりすることがあります。表面の汚れは柔らかい布で拭いてください。また、煙霧状の殺虫剤などは光学部品に影響を与えますのでご注意ください。煙霧状殺虫剤などを使用するときは、本装置への影響を避けるため、事前にビニールシートなどで完全に包んでから殺虫剤などを使用してください。

●音とびしたり、データが読めなかったら

- ディスクを柔らかい布で内側から外側へ放射状に軽くふいてください。



- レンズをカメラのレンズ用ブロー（市販品）でお手入れしてください。



■ ACアダプタについて

- 必ず添付のACアダプタ(UJDB360PS2)をご使用ください。

■ ディスクの取り扱いについて

- 指紋、油、ゴミなどをつけないでください。汚れた場合は、少し湿らせた布で中央から外側に向けて拭いた後、乾いた布で拭き取ってください。
- 熱を加えないでください。
- 表面に傷をつけないよう、特にケースからの出し入れには注意してください。
- 中心の穴を大きくしないでください。
- 屋外などの寒い場所から急に暖かい場所へ移すと、表面に水滴がついて動作できないことがあります。このときは、乾いた柔らかい布で水滴をふいて乾燥させてから使用してください。なお、水滴はヘヤードライヤーなどで乾かさずにください。
- ほこり、傷、変形などを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

- 次のような場所には置かないでください。ディスクが変形し、正常にデータの書き込みや読み出しができなくなります。
 - 高温多湿なところ
 - 低温低湿なところ
 - 直射日光が長時間当たるところ
 - 湿気、ほこり、浮遊物などが多いところ
 - 暖房器具などの熱が当たるところ
- 記録面(レーベルのないほう)に直接触れないでください。ディスクが汚れると、正常にデータの書き込みや読み出しができなくなります。
- ディスクは両面ともラベルを貼ったり、ボールペンや鉛筆などで字を書いたりしないでください。
- ラベルを貼ってしまった場合は、はがさないでください。一度貼ったラベルをはがすとディスクの記録層にキズがつき、記録面(レーベルのないほう)からのレーザー反射に影響を与え、書き込みや読み出しに失敗する場合があります。
- 乾いた布などでディスク表面を強くこすらないでください。ディスクが傷ついたり、変形したりすると、正常にデータの書き込みや読み出しができなくなります。
- ディスクを投げたり、曲げたりしないでください。ディスクが傷ついたり、変形したりすると、正常にデータの書き込みや読み出しができなくなります。
- ディスクを薬品や洗剤で拭かないでください。ディスクが傷ついたり、変形したりすると、正常にデータの書き込みや読み出しができなくなります。

DVD-RAM ディスクについて

- DVD-RAM ディスクは、「記録できる DVD」として、パソコンデータの大容量記録再生を目的に開発されたリムーバブルディスクです。
- DVD-RAM ディスクには、以下のタイプがあります。
- **TYPE1**…カートリッジからのディスクの取り出しはできません。
- **TYPE2**…片面のディスクで、カートリッジからのディスクの取り出しができます。
- **TYPE4**…両面のディスクで、カートリッジからのディスクの取り出しができます。
- **カートリッジなし**
- 本機でご使用いただける DVD-RAM ディスクは、カートリッジなしのタイプです。TYPE2 または TYPE4 の DVD-RAM ディスクは、カートリッジからディスクを取り出してご使用ください。本機では再生のみ対応しています。

■ TYPE2、TYPE4 の DVD-RAM ディスクについて

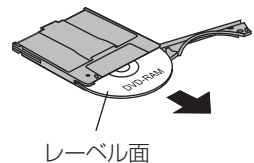
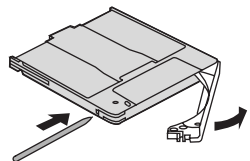
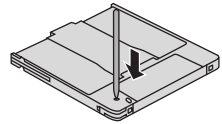
●ディスクを取り出すには

カートリッジからのディスクの取り出しは、以下の手順で行います。

〔イラストは松下電器産業(株)製12 cm DVD-RAM ディスクで説明しています。他社のディスクをご使用の場合は、ディスクの取扱説明書をご覧ください。〕

●TYPE2 カートリッジからディスクを取り出すときは

- 1 カートリッジのロックピンを、ボールペンなどの先のとがったもので押し、確実に折って、取り除く
- 2 カートリッジ左手前側面にある開閉用のへこみを、細いもので押さえ、開閉ふたを開ける
- 3 表面を汚したり、傷つけたりしないよう、ディスクを水平に取り出す



ディスクを収納するときは

- カートリッジのデザイン面とディスクのレーベル面を同じ向きにしてディスクをカートリッジに挿入し、開閉ふたを閉じる位置まで戻します。
- 開閉ふたを閉じた後にライトプロテクトの設定を確認してください。

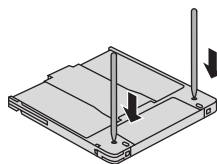
取り扱い上のお願い

- 開閉ふたを開くときに無理な力を加えて破損させないでください。
ディスクを取り出したあとのカートリッジには DVD-RAM 以外のディスクを入れて使用しないでください。
- 取り出したディスクは必ず元のカートリッジに戻して保管してください。

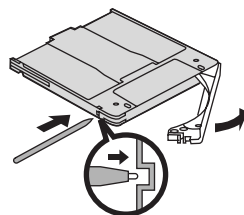
ディスクの取り扱い(→ P.36)もあわせてご覧ください。

●TYPE4 カートリッジからディスクを取り出すときは

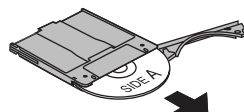
- 1 カートリッジのロックピン(2カ所)を、ボールペンなどの先のとがったもので押し、確実に折って、取り除く



- 2 カートリッジ左手前側面にある開閉用のへこみを、細いもので押さえ、開閉ふたを開ける



- 3 表面を汚したり、傷つけたりしないよう、ディスクを水平に取り出す



ディスクを収納するときは

- カートリッジの A 面とディスクの A 面を同じ向きにしてディスクをカートリッジに挿入し、開閉ふたを閉じる位置まで戻します。
- 開閉ふたを閉じた後にライトプロテクトの設定を確認してください。

取り扱い上のお願い

- 開閉ふたを開くときに無理な力を加えて破損させないでください。
ディスクを取り出したあとのカートリッジには DVD-RAM 以外のディスクを入れて使用しないでください。
- 取り出したディスクは必ず元のカートリッジに戻して保管してください。

ディスクの取り扱い(→ P.36)もあわせてご覧ください。

本装置の取り扱いについて

⚠ 注意

- 本装置は水平に置いてお使いください。
- 本装置を取り扱う場合は、コネクタ部に手を触れないでください。
- 極端に高温、低温の場所、温度変化の激しい場所での使用・保管は避けてください。
- 温度や湿度が急激に変化する場所での使用・保管は避けてください。
- 寒い場所から暖かい場所に急に移動させないでください。冷えている本装置を暖かい場所へ急に移すと、レンズに水滴が付き（結露現象）、正しく動作しないことがあります。このような場合は、1時間程待ってから使用してください。
- 直射日光の当たる場所や発熱器具のそばには近づけないようにしてください。
- 磁石のそばや強い磁界を発生する場所での使用・保管は避けてください。
- 衝撃や振動の加わる場所での使用・保管は避けてください。また、不安定な所に置いたり、落したり、倒したりしないでください。
- 湿気やほこりの多い場所での使用・保管は避けてください。
- 超音波加湿器を使用している場所での使用・保管は避けてください。
- 腐食性ガスが発生する場所、潮風が当たる場所での使用・保管は避けてください。
- 通気性、換気性のよい場所でお使いください。
- 内部に液体や金属など異物が入った状態で使用しないでください。何か異物が入ったときは「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。
- 本装置のPOWER/BUSY表示ランプが緑色点滅中、およびWRITE表示ランプオレンジ色点灯中は、振動や衝撃を与えないでください。
- 本装置のPOWER/BUSY表示ランプが緑色点滅中、およびWRITE表示ランプオレンジ色点灯中は、CDを取り出したり、パソコン本体の電源を切らないでください。CDのデータが破壊されたり、本装置の故障の原因となります。
- 汚れは、柔らかい布でからぶきするか、柔らかい布に水または水で薄めた中性洗剤を含ませて軽くふいてください。ベンジンやシンナーなど揮発性のものは避けてください。
- 分解したり、解体したりしないでください。ドライブからのレーザー光線は、視力障害の原因となることがあります。
- レンズに触れないでください。レンズに触れると、キズや汚れがつき、正常に動作しなくなることがあります。
- 本装置を移動させるときは、必ずCDを取り出してください。CDが入っていると故障の原因となることがあります。

故障かな!? と思ったら

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、以下の内容をお調べください。お客様からお問い合わせの多いトラブルに関する症状、原因、対処方法を記載しています。問題が解決できない場合は、ご購入元にご確認いただくか、または故障・修理に関するお問合せ先(「お問合せ」→ P.53)にご相談ください。

こんなときには

ここをお調べください

1
本装置がパソコンに認識されない、または正常に動作しない

➡ ACアダプタが正しく接続されていますか？

AC アダプタの保護機能が働いている場合があります。AC アダプタをコンセントから抜き、2～3分放置後再度コンセントに差ししてください(→ P.3)。

➡ パソコンへのセットアップを行いましたか？

パソコンのセットアップ(デバイスドライバのインストール)を行ってください(→ P.8)。

➡ USB ケーブルが正しく接続されていますか？

正しく接続されているかご確認ください(→ P.3)。

➡ USB ケーブルのピンが曲がったり、折れたりしていませんか？

故障・修理に関するお問合せ先(「お問合せ」→ P.53)、またはご購入元にご連絡ください。

➡ 正常なUSBケーブルの取り外しをしましたか？

本書記載の手順(→ P.5)に従わなかった場合、ドライブアイコンが見えなくなる場合があります。パソコンを再起動してください。



(次ページに続きます。)

こんなときには



ここをお調べください

1

本装置がパソコンに認識されない、または正常に動作しない



使用 OS が合っていますか？

Windows 98SE/Windows 2000/Windows Me/
Windows XP で動作します。(Windows 98SE/
Windows Me では本機付属の USB ドライバーが必要です。)



(次ページに続きます。)

こんなときには

ここをお調べください

1
本装置がパソコンに認識されない、または正常に動作しない

デバイスマネージャでドライバーが正しく組み込まれているか確認してください。

(OS によっては、表現が一部異なる場合がありますので、ご使用 OS の表現に読み替えてください。)

1 「スタート」→「マイコンピュータ」を右クリック→「プロパティ」を選択する

2 「ハードウェア」→「デバイスマネージャ」→「表示」→「デバイス(種類別)」を選択する

インストール後、本機がパソコンに接続されると以下の様に表示されます。

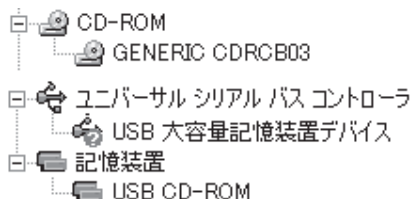
- Windows XP/Windows 2000 の場合
(OS 標準ドライバー)



- Windows 98SE/Windows Me の場合
(本機付属のドライバー)



- Windows Me の場合(OS 標準ドライバー)



(次ページに続きます。)

こんなときには

ここをお調べください

1

本装置がパソコンに認識されない、または正常に動作しない

CD仮想化ソフト(Virtual CD等)がインストールされている場合は、本装置が正常に認識されないことがあります。その場合には、本装置を接続したままパソコン本体を再起動してください。詳しくは、CD仮想化ソフトのマニュアル、readme等をご覧ください。

2

DVD-RAM
ディスクが認識されない

UDF 形式でフォーマットされたディスクを使っていますか？

DVD ビデオレコーダーで UDF2.0 形式にフォーマットされたディスク、または DVD-RAM ドライブで UDF1.5 または UDF2.0 形式にフォーマットされたディスクをお使いください。

UDFリーダーをインストールしましたか？

本機のセットアップを実行し、UDF リーダーをインストールしてください。(→ P.15)

ディスクが汚れたり傷ついたりしていませんか？

ディスクが汚れたり傷ついたりすると、読み込みができません場合があります。

- お手入れしてください。(→ P.35)

3

DVD-R、DVD-RW
ディスクが読み込めない

ご使用の DVD ディスク(メディア)の形式や書き込み方式は正しいですか？

本機で可以使用できる DVD-R は 4.7 GB(For General/Authoring)および 3.95 GB、DVD-RW は 4.7 GB の Ver1.1 に対応している必要があります。

- 本機で可以使用できるディスク(メディア)記録方式は、下記ページをご参照ください。
(→ P.24、26、54)

こんなときには

ここをお調べください

4

ディスクが取り出せない(ディスクカバーが開かない)

ドライブが動作していませんか？

CD-R/CD-RW ディスクにデータ書き込み中はオープンボタンを押してもディスクカバーは開きません。書き込みが終了するのをお待ちください。

「DLA」をご使用の場合には、「マイコンピュータ」のドライブアイコンを右クリックし、「取り出し」を選択してください(→ P.38)。

ディスクの「取り出し」を選択してもディスクカバーが開かない場合は、強制オープンレバーを操作してください(→ P.39)。

5

本装置、ACアダプタなどが温かい

故障ではありません。

異常に高温になる場合は、AC アダプタを外し、故障・修理に関するお問合せ先(「お問合せ」→ P.53)、またはご購入元にご連絡ください。

6

正常な書き込みができない

- 本装置では、パケット記録(DLA を使用)でのCD-Rメディアへの書き込みは対応していません。パケット記録にはCD-RWメディアをご使用ください。

- Windows XPをお使いの場合は、Windows XPの書き込み機能は使用しない設定にしてください。「こんな疑問や質問があったら」および 書き込みアプリケーションのヘルプをご覧ください(→ P.32、P.47)。

7

音とびしたり、データが読み書きできない

ディスクに傷や汚れがありませんか？

本装置に異常がないことを確認するために、別のディスクに取り替えてみてください。

本装置やディスクが結露していませんか？

ディスクを取り出して約1時間放置してください。



(次ページに続きます。)

こんなときには

ここをお調べください

8

音とびしたり、データが読み書きできない



ゴミが本装置のターンテーブルの上に付着していませんか？

お手入れしてください(→ P.35)。



本装置対応のディスクを使用していますか？

お使いのディスク(メディア)をご確認ください。
(→ P.24、25、52)



ディスクまたは本装置のレンズが汚れていませんか？

お手入れしてください(→ P.35)。



ラベル面を上にして、ディスクを入れていますか？

ディスクの向きをご確認ください(→ P.21)。

9

音が聞こえない



パソコン本体の音楽 CD 再生ソフトを使って本装置で音楽 CD を再生する場合、デジタル再生が「有効」に設定されていますか？

データを読み込む(→ P.26)。



パソコン本体側の音量ボリュームを下げすぎていませんか？ また、音量ボリュームの設定が「ミュート」になっていませんか？

パソコン本体側の音量ボリュームを調整してください。

こんな疑問や質問があったら

本装置についての疑問は、「故障かな!?」と思ったら」を先にお読みください(→ P.41)。

■ 書き込みについて

Q パソコン本体にいくつもの書き込みソフトをインストールしたままで書き込みできますか？

A 次の場合、正常に書き込みできないことがあります。

- 複数の書き込みソフトが同時に起動されている。
(常駐するタイプの書き込みソフト含む)
- バージョンの違う書き込みソフトがインストールされている。

Q 書き込み途中で失敗してしまうのですが、どうしたらいいですか？

A SmoothLink機能が動作していない可能性があります。書き込みソフトのSmoothLink機能が「ON」に設定されているかご確認ください。また下記内容もご確認ください。

- スタンバイ／レジューム機能が働かないようにする。
- 常駐ソフトやその他のプログラムを終了する。

SmoothLink機能を使用しない場合は、CD-R/CD-RW ディスクへ書き込むためのデータがパソコン本体から送られてくる際、そのデータが途中で途切れたりすると書き込みが失敗してしまいます。

これを防ぐには、

- ネットワーク接続をしない。
- スクリーンセーバーを止める。
- 常駐ソフトやその他のプログラムを終了する。
- Active Desktop を止める。
- スタンバイ／レジューム機能が働かないようにする。
- ハードディスクのフラグメンテーションを解消する。
- 書き込み速度を変えてみる(低速にする)。

実際に書き込みを行う前に、書き込みソフトで「テスト書き込み」を行ってください。

Q 書き込む前と後ではデータのサイズが違うのですが？

A CD-R/CD-RW ディスクとハードディスクなどのセクタサイズが違うことが原因です。そのため、CD-R/CD-RW ディスクに書き込んだときは、ハードディスクなどに格納されたデータサイズより若干大きくなります。また、書き込みモードによっては、書き込むデータのほかに情報エリア分の領域も使用します。

Q オリジナルのベスト版音楽 CD を作成したいのですが？

A それぞれの音楽 CD から wave ファイルとしてハードディスクに取り込み、それを添付の書き込みソフトを使って書き込みます。
詳しくは、添付の書き込みソフトのマニュアルをご覧ください。

Q 複数の CD-R/CD-RW ドライブ、または複数の書き込みソフトを使用して追記できますか？

A 同じドライブ、同じソフトで書き込むようにしてください。
追記する前のデータが読み込めなくなったり、本装置およびその他のドライブでデータの読み込み・書き込みが正常にできなくなる場合があります。

Q 書き込みに失敗するのですが？

A 本装置の推奨ディスクをご使用ください。
あわせて、ご使用のディスクと書き込み速度をお確かめください。

- CD-RW ディスクで4倍速を超える速度で書き込みを行うには、High Speed 対応の、8倍速を超える速度で書き込みを行うにはUltra Speed 対応のCD-RW ディスクが必要です。書き込みソフトで設定した書き込み速度に対応したディスクをご使用ください。

Q USB ハブ経由で接続して書き込むと、正常に書き込めないのですか？

A パソコン本体の USB コネクタに直接接続してください。USB ハブ経由での接続では、正常に書き込めない場合があります。

Q パソコン本体の BIOS 設定を変更する必要がありますか？

A 次の場合、パソコン本体のBIOS 設定を変更する必要があります。

- BIOS 設定でACPIやAPM といったパワーマネジメント機能が有効になっている場合、無効(Disabled)に変更してください。
- BIOS 設定でUSB1.1/2.0 の機能を切り換えるタイプのパソコンの場合、USB2.0 に切り換えてください。

これらは、ノートパソコン、デスクトップパソコンに関係なく行ってください。また、パソコンによってはユーティリティソフトで設定を変更するものがあります。詳しくは、パソコン本体のマニュアルをご覧ください。

Q 書き込んだ音楽データ(CD-DA形式)を再生するとノイズが発生するのですが？

Q パソコン本体内蔵CD-ROM から8倍速、6倍速、4倍速でのオンザフライ書き込みができますか？

A パソコン本体内蔵のCD-ROMドライブでは、音楽データ(CD-DA形式)などを高速読み出しできないものがあります。

- 本装置を使用して、パソコン本体のハードディスクドライブにデータを取り込んで、書き込みを行ってください。詳しくは、書き込みソフトのマニュアルをご覧ください。
- 書き込みソフトのSmoothLink機能が「ON」に設定されているかご確認ください(インストール直後は「ON」に設定されています)。

読み込みについて

Q 最高速で読み込めないのですが？

A USB2.0 に設定されているか、デバイスマネージャでドライバが正しく組み込まれているか確認してください。

(OS によっては、表現が一部異なる場合がありますので、ご使用のOS の表現に読み替えてください)

デバイスマネージャをみるには、

- 1 「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックする
- 2 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックする
- 3 「表示」メニューの「デバイス(接続別)」をクリックする

インストール後、本装置がパソコンに接続されると次のように表示されます。

USB1.1 に設定されている場合(例)



USB2.0 に設定されている場合(例)



Q 最高速で読み込めないのですが？

A ディスクによっては最高速で読み込めないものがあります。

- CD-RW ディスクは20倍速までの読み込みです。
- 規格外CD の場合は、最高速では読み込めない場合があります。

Q 本装置で書き込んだCD-R/RW ディスクは、他のドライブでも読み込めますか？

A マルチリードに対応したドライブをご利用ください。一部のCD-ROMドライブでは、読み込みできない場合があります。

Q 他のドライブで書き込まれたCD-R/RW ディスクは読み込めますか？

A 通常は、読み込めます。ただしいくつかのドライブで書き込まれたものは、読み込めない場合があります。また、一部のドライブによって書き込まれたディスクは、読み込みできない場合があります。

Q 音楽データ(CD-DA形式)をパソコン側に取り込みたいのですが？

A 付属の書き込みソフトを使用してデータの取り込みを行ってください。パソコン上で、アイコンなどからドラッグ&ドロップをしてもハードディスクなどには取り込めません。

A 本装置は、コピープロテクト(コピーコントロール)されたCDからのデータの取り込みには、対応していません。

その他

Q 付属以外の書き込みソフトで、本装置が認識されませんか？

A 書き込みソフトが本装置に対応しないとご使用できません。

Q 縦置きで使用できますか？

A 縦置きでの動作は保証されていません。故障の原因となる場合があります。水平に設置された状態でご使用ください。

■ DVD ビデオ再生について

Q DVD ビデオが再生できない

A DVD ビデオ再生ソフトのマニュアルやヘルプおよび下記の事項をご確認ください。

- 複数のドライブが接続されている場合は、本機が選択されていない場合があります。
- DVD ビデオと本機および、再生ソフトのリージョンコードが合っていないと再生できません。リージョンコードが合っているかご確認ください。

A DVD の記録方式によっては、自動再生できない場合があります。

下記の方法でご使用ください。

- はじめに WinDVD 4 を起動して本機にディスクをセットしてください。
- WinDVD 4 の再生メニューからファイルを選択して、再生してください。

Q DVD ビデオの音や画像がスムーズに再生できない

A DVD ビデオをスムーズに再生するには、パソコンのシステム能力が要求されます。DVD ビデオ再生ソフトのマニュアルやヘルプおよび下記の事項をご確認ください。

- インターフェースが USB 1.1 の場合、画像や音声が入切れることがあります。USB 2.0 でお使いください。
- 他のアプリケーションを起動していたら終了してください。多くのアプリケーションを起動すると、CPU 能力が不足する場合があります。
- ディスプレイの表示領域や色の設定を変更してください。表示領域や表示色を少なくすると、CPU 能力を有効に使用できます。
- CPU のスピード設定をご確認ください。パソコンによっては、CPU 能力の低い省電力モードに設定されている場合があります。
- 音声ミュートに設定されていないかご確認ください。

お問合せ先

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、ご購入元にご確認いただくか、以下それぞれの「お問合せ先」にご相談ください。

●故障・修理に関するお問合せ先

[法人のお客様]

■「富士通ハードウェア修理相談センター」

- フリーダイヤル 0120-422-297

[個人のお客様]

■「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」

- フリーダイヤル 0120-950-222

●技術的なご質問、ご相談のお問合せ先

■「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」

- フリーダイヤル 0120-950-222

- ー おかけ間違いのないよう、ご注意ください。
- ー 各窓口ともダイヤル後、音声ガイダンスに従い、ボタン操作を行ってください。
お客様の相談内容によって、各窓口へご案内いたします。
- ー お問合せ時間 9:00 ～ 17:00(土日祝日、年末年始を除く)

仕様

使用環境	温度 5℃～35℃ 湿度 20%～85%(結露なきこと)
保存環境	温度 -20℃～55℃ 湿度 15%～85%(結露なきこと)
本体外形寸法	130 (幅)×157 (奥行き)×18.5 (高さ) mm
本体質量	約 300 g
電 源	AC アダプター(UJDB360PS2) AC 100-240 V、50/60 Hz
消費電力 (AC 100 V 時)	データ転送時 :約10 W AC アダプター :約1 W
対応インターフェース	USB2.0 および USB1.1
専用 USB ケーブル	ケーブルの長さ :約1 m(コネクタを含む) 質量 :約 35 g
バッファ容量	2MB
対応フォーマット	CD-DA(音楽 CD)、CD TEXT、CD-EXTRA、 CD-ROM(Mode 1、Mode 2 Form 1)、 CD-ROM XA(Mode 2 Form 2)、 Photo CD ^{注1} (マルチセッション 対応)、Video CD
対応 ディスク ^{注2}	DVD-RAM(80 mm、120 mm) ^{注3} 両面 9.4 GB、5.2 GB、2.8 GB 片面 4.7 GB、2.6 GB、1.4 GB
	DVD-R(for General、Ver 2.0) 4.7 GB(120 mm) DVD-R(for General、Ver 2.0) 1.4 GB(80 mm) DVD-RW(Ver 1.1) 4.7 GB(120 mm)
	DVD-ROM、DVD-Video、DVD-R(for Authoring) ^{注4} (80 mm、120 mm)
	CD-R(74 分/80 分)、CD-RW、High Speed CD-RW、 Ultra Speed CD-RW(74 分/80 分)/(120 mm)

注1：Photo CD 使用時には市販の再生ソフトが必要です。

注2：ディスク容量はアンフォーマット時の容量です。
両面ディスクは、同時に両面の再生はできません。
DVD-RAM/-R/-RWへの記録には対応していません。

注3：カートリッジ形式のディスクは、TYPE2、TYPE4 のディスク取り出しができるものに限ります。

注4：DVD-R 3.95 GB/4.7 GB for Authoring の、ディスクアットワンス方式で書き込まれたディスクに対応しています。

リージョンコード設定	出荷時設定	2 (日本地域に設定)
	設定変更回数	4回 (4回目以降は変更不可)
シークタイム (自社測定ソフトによる)	DVD-ROM	180 ms
	CD-ROM	140 ms
連続データ 転送速度 ^{注5} (USB 2.0 の場合) 1倍速の転送レート DVD メディア: 1350 KB/s CD メディア: 150 KB/s	DVD-RAM	1 倍速(再生時) (2.6 GB) 2 倍速(再生時) (4.7 GB)
	DVD-ROM(Single)	最大 8 倍速(再生時)
	DVD-ROM(Dual)	最大 6 倍速(再生時)
	DVD-R/-RW DVD-Video	最大 4 倍速(再生時)
	CD-R	最大 24/最大 16/8/4 倍速 (記録時)
	CD-RW	最大 16/10/8/4 倍速(記録 時)
	CD-ROM CD-R/CD-RW	最大 24 倍速(再生時)
	CD-DA	最大 20 倍速(再生時)

注: 製品の定格およびデザインは、改善などのため、予告なく変更する場合があります。

対応 パソコン ^{注6}	FMVシリーズ
対応 OS ^{注7注8}	Windows® XP(日本語) Windows Me(日本語) Windows 2000(日本語) Windows 98SE(日本語)
CPU ^{注7}	Pentium® II 400 MHz 以上
メモリー ^{注7}	64 MB 以上 (128 MB 以上を推奨) (Windows XP では128 MB 以上)
ハードディスク空き容量 ^{注7}	100 MB 以上 (800 MB 以上を推奨)

注5: データ転送速度はパソコンの性能に依存し低下する場合があります。

注6: USB ポートを搭載した機種に限ります。

注7: パソコンの必要環境は、ご使用のアプリケーションにより異なります。(→ P.18)
ソフトメーカーのサポート情報などで、使用可能なことを事前にお確かめください。

注8: Windows 2000/Windows XP のサーバー OS には対応していません。

エンドユーザーライセンス契約書

本契約書は、お客様と富士通株式会社との間の契約書です。

添付されているソフトウェアプログラム(本ソフトウェアといいます)の袋を開封する前に、この契約の条件を十分にご確認ください。

袋を開封されますと、お客様はこの契約に同意したことになります。

お客様がこの契約に同意できない場合には、未開封のままの袋と共に購入いただいたDVD-ROM&CD-R/RW ドライブユニット(FMV-NCB51)一式をご購入元へ返品ください。

お支払い済の購入代金を返却致します。

ただし、袋を開封されたり、部品を遺失されますと、購入代金は返却致しかねますので、ご了承ください。

1 著作権

弊社は、パナソニック コミュニケーションズ株式会社あるいはその許諾者(許諾者と総称します)が著作権を有する本ソフトウェアに関し、お客様へのライセンスに必要な権利の許諾を受けております。

DVD-ROM&CD-R/RW ドライブユニット(FMV-NCB51)一式の購入により、お客様にはこの契約中で許諾される以外は何らの権利も発生せず、それらの権利のすべては許諾者あるいは弊社に帰属します。

2 使用条件

- (1) お客様は、1台のコンピューター上でのみ本ソフトウェアを使用することができます。

ネットワークで使用するために、ネットワークサーバーに本ソフトウェアをインストールすることは許諾されません。

- (2) お客様は、本ソフトウェアあるいは付属する印刷物を複製したり、第三者にその許諾をすることはできません。

ただし、(a)バックアップ用あるいは保管用として必要な本数、本ソフトウェアをコピーすること、および(b)お客様が本ソフトウェアのオリジナルをバックアップ用あるいは保管用とすることを条件として、1台のコンピューターのハードディスクに本ソフトウェアをインストールすることは許諾されます。

- (3) お客様は、本ソフトウェアを第三者に貸したり、リースすることはできません。

ただし、お客様がこの契約書と共に本ソフトウェアのすべてのコピー、付属する印刷物並びにDVD-ROM&CD-R/RW ドライブユニット(FMV-NCB51)一式を同時に譲渡し、譲渡を受ける方がこの契約の条件に同意した場合に限り、この契約に基づくお客様の権利を譲渡することはできます。

- (4) お客様は、本ソフトウェアをリバース・エンジニア、逆コンパイルあるいは逆アセンブルしてはなりません。

- (5) お客様は、この使用条件に規定された場合を除き、本ソフトウェアの全部あるいはその一部を使用、複製、修正、変更あるいは譲渡してはなりません。
- (6) 本契約書は、お客様が適法に使用許諾を受けたことの証明書となりますので大切に保管してください。

3 契約期間

お客様は、いつでも、本ソフトウェア、付属の印刷物並びにこれらの複製物のすべてを破棄することでこの契約を終結することができます。

また、お客様がこの契約書の条件に違反した場合にも、この契約は終結します。この場合、お客様は本ソフトウェア、付属の印刷物並びにこれらの複製物のすべてを破壊していただくものとします。

4 保証

- (1) 弊社(その許諾者を含む)は、お客様あるいは他の第三者に対して、一切の明示あるいは黙示の保証を行いません。
また本ソフトウェアの機能がお客様の要求に合致していることも、本ソフトウェアに欠陥がないことも一切保証致しません。

- (2) 弊社は、お客様が本ソフトウェアを使用することあるいは使用できなかったことから生じる偶発的あるいは間接的な損害、または受けられるべき救済の損失、得べかりし利益の損失、その他使用に起因して生じるいかなる損害に対しても責任を負いません。

上述の制限は、法律上の^{かし}瑕疵担保責任、不当利得、不法行為、その他請求原因、訴訟形態のいかににかかわらず、また当事者がこのような損害の可能性を連絡されていた場合であっても同様に適用されます。

BIOS (バイオス)	正式名はBasic Input Output Systemで、フロッピーディスクドライブやハードディスクドライブなどのディスクドライブ、キーボードなどパソコンのハードウェアを動かすために必要となる最も基本的なソフトウェアです。通常はパソコン本体に内蔵されています。
CD Extra	音楽 CD のデータの他に、CD-ROM のデータが記録された CD のことです。特に内周側を通常の音楽 CD、それより外周側を CD-ROM として使用しているものの呼称です。  や  のマークが入っています。
CD-R	正式名は Compact Disc Recordable で、一度だけ書き込み可能なコンパクトディスクです。一度書き込んだデータの消去や書き換えはできません。書き込みモードによっては、空き領域に追記が可能です。
CD-RW	正式名は Compact Disc ReWritable で、書き込んだデータ全体または最後のセッションが消去でき、再度書き込みや書き換えが可能です。
Disc at once (ディスク アットワンス)	CD 全体のデータをまとめて作成し、一度に書き込む方法です。追加書き込みはできません。
DVD	正式名は Digital Versatile Disc(デジタル多目的ディスク)で、CD と同じサイズの DVD-ROM は CD-ROM の7倍以上のデータ容量を持っています。
DVD-RAM	DVD 規格のひとつで、繰り返しディスクにデータの読み出し・書き込みができる(リムーバブル)ディスクのことです。
DVD-Video (ビデオ)	DVD 仕様のひとつで、映画など、主に家庭用ビデオソフトを DVD に記録したものです。ビデオの音声の言語や字幕、カメラアングルなどを切り替える機能があります。
DVDビデオ レコーディング 規格	DVD 規格のひとつで、DVD のディスクにビデオデータを記録する方式のことです。 「VR 規格」や「VR フォーマット」とも呼ばれます。
High Speed CD-RW	4倍速から10倍速の書き込みに対応した、新しいCD-RWのディスクです。書き込みには、High Speed CD-RWに対応したドライブが必要です。  のマークが表示されています。
Multiborder (マルチボーダー)	CD-R で採用されている「マルチセッション」と同等の機能で、DVD-R で追記を可能にする方式です。
Multisession (マルチセッション)	CD-ROM のフォーマットのひとつです。1枚の CD に複数のセッションが記録されているものです。

Packet writing (パケット ライティング)	パソコン上でファイルとして扱えるデータをパケットと呼ばれる単位で書き込む方法です。
Photo CD	米国の Eastman Kodak Company により研究開発された技術です。1枚の CD-ROM にたくさんのイメージ画像(写真など)が保存できます。
SmoothLink	松下電器産業株式会社で開発された、「バッファアンダーランエラー(転送速度エラー)」を回避することができる技術です。
Track at once (トラック アット ワンス)	ひとつのトラックを、一度に書き込む方法です。 CD Extra の作成などに利用されます。
UDF フォーマット	Universal Disk Format の略で、パケットライティングや各種 DVD ディスク(DVD-RAM、DVD-Video、DVD-ROM、DVD-R、DVD-RW)に採用されているディスクフォーマットです。
Ultra Speed CD-RW	8 倍速から24 倍速の書き込みに対応した、CD-RW のメディアです。書き込みには、Ultra Speed CD-RW に対応したドライブが必要です。  のマークが表示されています。
USB	Universal Serial Bus の略で、各種の周辺機器とパソコン本体を接続するための業界標準規格です。
USB 2.0	USB 2.0 は、USB-IF(USB Implementers Forum)によって制定された、USB 1.0/1.1 上位互換の高速なUSB インターフェースです。データ転送は最大で、USB 1.1 の約40倍となります。
インストール	一般に、デバイスドライバなどのソフトウェアをパソコン本体のシステムに登録する作業をいいます。
オンザフライ方式	データをソースファイルから直接読み込んで、CD-R/CD-RW ディスクに書き込む方式です。大きなイメージファイルを必要とせず、ハードディスクの空き容量が少なく済みます。ただし、パソコン本体の内蔵 CD-ROM ドライブにソースファイルがある場合には、書き込みが間に合わず、エラーが発生する場合があります。
再生可能地域コード (リージョンコード)	DVD ビデオを再生できる地域を管理するためのコードです。 日本のコードは「2」です。(→ P.29)
デバイスドライバ	パソコン本体に新しく追加した周辺機器を利用できるようにするためのソフトウェアです。
バッファアンダーラ ンまたはバッファア ンダーランエラー	CD-R/RWドライブのバッファメモリ内のデータが書き込み中に、瞬間的に空になってしまい、書き込みが中断されてしまう現象で、書き込みエラーとなります。
ホットプラグ	周辺機器をパソコン本体の電源が入った状態で抜き差しする操作をいいます。

CD-RW/High Speed CD-RW/Ultra Speed CD-RWディスクを読み出し可能なFMVシリーズ

1998年夏モデル以降	・ FMV-DESKPOWER TVⅦ407を除くFMVシリーズ全機種
1998年春モデル	・ FMV-DESKPOWER TV337を除くDESKPOWERシリーズ全機種 ・ FMV-BIBLO NAシリーズ ・ FMVデスクトップ／ミドルタワー／コンパクトPC全機種

- DLAで作成したCD-RWディスクからファイルを読み出すには、「UDFリーダー」というプログラムが必要です。「UDFリーダー」は次の方法でWebからダウンロードしてください。

ただし、DLAがインストールされているパソコン本体、またはOSがWindows 2000/XPのパソコン本体には、「UDFリーダー」は必要ありません。

- 1 「RecordNow DX」を起動します。
- 2 「ヘルプ」メニュー→「Webのテクニカルサポート」の順にクリックします。
サポートのWebページが表示されます。
- 3 Webページ内の「ダウンロード」をクリックします。
この後は、メッセージに従って操作してください。

DLAで作成したCD-Rディスクを読み出し可能なFMVシリーズ

1998年春モデル以降	FMVシリーズ全機種
-------------	------------

備考: RecordNow DXで作成したCD-Rディスクは、CD-ROMドライブのあるFMVシリーズで読み出し可能です。

Memo_____

FMV SERIES
DVD-ROM&CD-R/RWドライブユニット
(FMV-NCB51)
取扱説明書
B5FY - 4271 - 01 - 00

発行日 2003年10月
発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本はお取り替えいたします。

FUJITSU